



愛犬・サンデーと
(群馬県立土屋文明記念文学館提供)

やまむら ぼちよう
山村 暮鳥 1884(明治17)年～1924(大正13)年

特別展 詩人・山村暮鳥展

やま むら ぼ ちよう

— 雲もまた自分のようだ —

明治末から大正にかけて活躍した仙台ゆかりの詩人、山村暮鳥の特別展を開催します。1884(明治17)年、現在の群馬県高崎市に生まれた暮鳥は、日本聖公会の伝道師として働く傍ら詩を創作。病気と貧困に苦しみながらも、童話や童謡、小説など多様な作品を残しました。

暮鳥は1909(明治42)年、25歳のとき日本聖公会仙台基督教会に着任。わずか10か月ほどの滞在ではありましたが、その間、2冊のパンフレット詩集を出版したほか、地元の文学青年たちと交流し、離仙後も彼らの文芸活動に関わるなど、仙台との縁を持ち続けました。

今回の展示は、群馬県立土屋文明記念文学館所蔵の資料・展示パネルをもとに、暮鳥と仙台との関わりに着目したコーナーも設け、暮鳥の生涯と作品について紹介します。本展を通して、山村暮鳥の世界に目を向けていただければ幸いです。



自筆詩稿「朝顔」(群馬県立土屋文明記念文学館蔵)



仙台時代に出版したパンフレット詩集
『LA BONNE CHANSON.』
『夏の歌』
(いずれも複製)



暮鳥の詩集
右から『聖三稜玻璃』『風は草木にささやいた』『雲』

関連イベント

会場はすべて仙台文学館講習室 ※いずれも入場の際、特別展観覧券の半券が必要です。

1 講演会

こちらのイベントは、
講師の都合により
中止させていただきます。
大変申し訳ありません。

2 講座

山村暮鳥の詩を どう読むか

日時：6月1日(日) 13:30～15:00
講師：佐藤 伸宏氏(東北大学名誉教授)
定員：70名(先着)

申し込み
受付開始 5月14日(水) 10:00～

3 朗読のひととき

山村暮鳥特集

日時：6月21日(土) 14:00～15:00
出演：芝原 弘氏
(黒色綺譚カナリア派/コマイぬ)
定員：50名(先着)

申し込み
受付開始 5月21日(水) 10:00～

申し込み方法 電話で仙台文学館まで **022-271-3020** (1回の申し込みにつき2名まで)

※いただいた個人情報は上記イベントのご連絡以外に使用しません。

学芸員による展示解説 日時：5月17日(土)、6月6日(金) 各日13:30～

申し込み不要、直接会場へ

※特別展観覧券が必要です。

交通のご案内

バス利用の場合

■宮城交通バス
仙台駅西口バスプール2～4、6番乗り場
仙台北・泉地区方面行
(北山トンネル経由を除く)

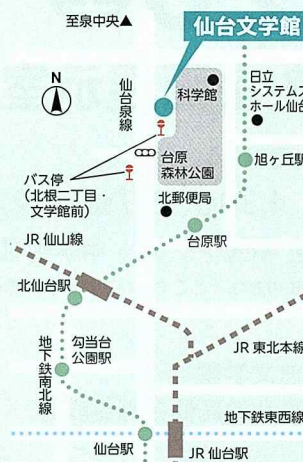
■市営バス
仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車

地下鉄利用の場合

地下鉄南北線「台原駅」下車、
南1番出口より徒歩約25分
(台原森林公園内あかまつの道
経由)
※山道です。雨天時は道が滑り
やすくなりますのでご注意ください。

駐車場 40台(無料)

台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



今後の展覧会

こども文学館えほんのひろば
ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ
2025年7月～9月(予定)



(公財)仙台市市民文化事業団
仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL 022-271-3020
FAX 022-271-3044
<https://www.sendai-lit.jp/>

この印刷物は「雑がみ」としてリサイクルできます。